

**暗記ナシ・簡単・短期で語彙力を3倍以上に！**

これからは辞典を使わず意味が分かるようになります。

# VocaBoost



## ■ 推奨環境

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。クリックできない場合は使用されている AdobeReader のバージョンが古いと思われますので、最新版をダウンロードして下さい。(無料)

⇒ <http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

## ■ 著作権について

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は World Wide Vision 株式会社に帰属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。**但し、改編なしに再配布することは可能とします。**

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。但し、改編なしに再配布することは可能とします。著作権等違反の行為を行った時、その他法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

## ■ 免責事項について

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等に基づいて作成しております。その為、著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、正確な情報等があらましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。



# もくじ

はじめに・・・4	1-19. trans・・・36
レポート VocaBoost の目的・・・7	1-20. un・・・37
レポート VocaBoost のゴール・・・9	Unit2 語根・・・39
レポートでお伝えする学習方法・・・10	2-1. cep・・・40
レポートの活用方法・・・14	2-2. duc・・・41
Unit1 接頭辞・・・17	2-3. fer・・・42
1-1. ad・・・18	2-4. fic・・・43
1-2. com・・・19	2-5. graph・・・44
1-3. de・・・20	2-6. log・・・45
1-4. dis・・・21	2-7. mit・・・46
1-5. epi・・・22	2-8. ply・・・47
1-6. ex・・・23	2-9. pos・・・48
1-7. in・・・24	2-10. spec・・・49
1-8. in・・・25	2-11. sist・・・50
1-9. inter・・・26	2-12. scrib・・・51
1-10. mono・・・27	2-13. tain・・・52
1-11. mis・・・28	2-14. tend・・・53
1-12. non・・・29	Unit3 練習・・・55
1-13. ob・・・30	3-1. 練習問題・・・56
1-14. over・・・31	3-2. 答え・・・59
1-15. pre・・・32	
1-16. pro・・・33	
1-17. re・・・34	
1-18. sub・・・35	さいごに・・・60



## はじめに

こんにちは、Fuyumi です。本レポートを手にしていただきましてありがとうございます。まずは簡単に自己紹介させていただきます。

本名：和氣布由巳（わけふゆみ）

出身：千葉県

学歴：市川高等学校 中退

英語保有資格：TOEIC 840 点

ケンブリッジ英語検定 First Certificate in English

保有資格：行政書士



### 経歴

1997年7月 市川高等学校 自主退学

2005年6月 中学英語もままならないままオーストラリアへ語学留学

2006年3月 TOEIC840点取得

2006年3月 ケンブリッジ英語検定 First Certificate in English 取得

2006年3月 日本へ帰国

### 23才まで英語を全く話せず・・・

学歴は中卒で、受験勉強をした経験もなし。高校は受かったので一応入ったものの、つまらないという理由だけで、入ってたった2週間で行かなくなり、7月に学校を辞める。

23才の時に一念発起し、オーストラリアへ語学留学するが、留学したからといって英語を覚えることができるわけではないと痛感。

英語を覚えることをあきらめかけていた時、語学学校の先生のおかげで、日本で習った勉強方法では英語を覚えることはできないと気がつく。

そこから短期間で英語を上達させ、TOEIC840点、そしてケンブリッジ英語検定 First Certificate in English を取得するまでになる。





## 2 週間で TOEIC 試験 800 点突破

TOEIC 対策教材「Score Up 1-2-3 for the TOEIC® Test」を販売させて頂いております。

もしあなたが、

「TOEIC ハイスコアを短期間で取りたい！」

「TOEIC スコアを少しでも上げたい！」

「TOEIC のビジネス英語に強くなりたい！！」

と思ってこのレポートを手にしたのであれば、下記「Score Up 1-2-3 for the TOEIC® Test」を是非チェックして下さい。

### Score Up 1-2-3 for the TOEIC® Test

合計 540 人の生徒をわずか 2 週間で平均 200 点スコアアップさせたアンドリュー先生の TOEIC 攻略法を公開しています。

⇒ [ネイティブの極秘 TOEIC 試験対策とは？](#)



## 無料メールマガジン登録

このレポートでお伝えする内容をウェブサイトを確認し、覚えていくことができる無料メールマガジンも発行しています。

レポートの内容だけでなく、英語を早く上達させることができる有益な情報もお伝えしていますので、「英語を早く覚えたい！」と本気で思っているのであれば、是非登録して下さい。

⇒ [無料メールマガジンに登録する](#)



## レポート VocaBoost の目的

それでは、まずはこのレポートの目的からです。あなたの目標を明確にするために、ここで一度書いてみましょう。近くにあるメモ帳に書いても構いません。

## レポート VocaBoost の目的

➤ 「あなたがこのレポートを読むことで達成したいことは何ですか？」

例) 語彙力を短期間でアップして、TOEIC ハイスコアを取りたい。



➤ 「それを達成することで、あなたにはどんな報酬がありますか？」

例)TOEIC ハイスコアを取ることで昇進できるので、仕事にもっと充実感を持てるし、お給料もアップするので生活にもゆとりができる。



©Radovan Kraker - Fotolia.com





## レポート VocaBoost のゴール

- ✓ 語彙力を短期間で一気にアップさせる
- ✓ 辞典を使わずに英単語の意味が分かるようにする
- ✓ 語彙問題に強くなる



## レポートでお伝えする学習方法

次に、このレポートでお伝えする学習方法が「如何に単語力をアップさせるために有効か」についてお話していきます。

この学習方法は TOEIC や TOEFL、英検や IELTS、ケンブリッジ英語検定等、どの英語試験にも非常に速効性のある方法です。また、英語試験だけでなく、高校や大学英语、日常英語やビジネス英語の習得にも非常に役立つ方法ですので、是非活用して下さい。

あるテレビ番組でこんなことを言っていました。最近漢字検定を受ける人が急増している、と。その理由は一体なぜなのか？

1 つは麻生元首相の漢字の読み間違いが影響し、もう一度漢字を勉強しようと思った人が増えたこと。そしてもう 1 つは、英語は単語を見ただけでは意味が分からないけど、漢字は英語とは違い、その漢字のつくりから意味を想像することができるので、その楽しさから漢字検定を受ける人が増えているのだらうとコメントしていました。

漢字のつくりから意味を想像するとは、例えば日本語の漢字は、「てへん」や「もんがまえ」、「くさかんむり」等、様々なパーツからできています。「てへん」が付いている漢字は、手を使った動作、のように意味を推測して捉えることができます。

しかし、このコメントには大きな間違いがあります。

実は、**英単語も漢字と同じように、英単語を見ただけで意味を想像し、捉えることができる**のです。そう、たとえその英単語を初めて見たのだとしても、意味を理解することができてしまうのです。

一体何を見て、単語の意味が分かるようになるのかというと、それは・・・「語源」です。英語も語源を知っていれば、たとえその英単語を初めて見たのだとしても、意味を理解することができてしまうのです。

「英語の語源とは一体何か？」

分からない方もいらっしやると思いますので、ここで分かりやすく例を挙げましょう。

「sympathetic」という単語がありますよね。



これを分解すると、  
sym+path+ic  
の3つに分解することができます。

そしてそれぞれ、

sym+path+ic  
sym(together)+path(feeling)+ic(adjective)

という意味を持っています。

全体の意味は、feeling together。つまり、to feel together と推測でき、最後の ic からこの単語の品詞は adjective(形容詞) と判断できるわけです。

なお、英英辞典の意味は、「caring and feeling sorry about someone's problems」です。(Longman Web Dictionary より引用)

もっと細かくお話すると、先頭に来ている sym を接頭辞、真ん中の path を語根、最後の ic を接尾辞というのですが、このことは覚えなくても構いません。

このように、英単語を語源で覚えていくと、知らない単語でも簡単に意味を推測して捉えることができます。そのため、意味を想像する力が飛躍的にアップすることは言うまでもありませんし、辞典を使って覚える必要もないので、単語は辞典で覚えなければいけないという固定観念を捨てることができ、苦勞することなく語彙力が増えます。

また、この覚え方のメリットはそれだけではなく、語源を覚えれば覚えるだけ、意味が分かる単語の数が一気に増えていくということです。例えば、先ほどの ic が付いている他の単語も、adjective(形容詞)だと判断することができますし、sym が付いている単語は「together」という意味が含まれているから、こんな意味だなと推測ができるわけです。

語源学習について、このような有名な話があります。

ミネソタ大学の James I. Brown 教授が提示した、14 の単語に含まれている 20 の接頭辞と 14 の語根を理解する事で、14,000 以上の英単語を推測できる手がかりを手に入れることができる。

どうでしょう。語源を理解すればするだけ、一気に語彙力をアップさせることができます。



そこで本書では、ミネソタ大学の James I. Brown 教授が提示した、14の単語(14 Master Words)に含まれている 20 の接頭辞と 14 の語根を、関連付けて覚えていくことができるように、1つ1つの語源に画像を付けてお伝えしていきます。「14の単語」と、「20の接頭辞と14の語根」は以下の通りです。

単語	接頭辞	語根
precept	pre-	cept
detain	de-	tain
intermittent	inter-	mit
offer	ob-	fer
insist	in-	sist
monograph	mono-	graph
epilogue	epi-	log
aspect	ad-	spect
uncomplicated	un-	ply
	com-	
nonextended	non-	tend
	ex-	
reproduction	re-	duct
	pro-	
indisposed	in-	pose
	dis-	
oversufficient	over-	fic
	sub-	
mistranscribe	mis-	scribe
	trans-	

1つ1つの語源に、その語源が含まれている単語の例を2つ用意しています。その単語の例のほぼ全ては、上記の20の接頭辞と14の語根を2つ以上使って構成されている単語ですので、上記以外の語源はほぼ掲載されていません。「なぜそうしたのか?」と言いますと、最短で14000以上の英単語を推測できる力をつけて頂くためです。

20の接頭辞と14の語根以外の語源が含まれている単語の例を用いてしまうと、当然ながら覚えなければいけない語源は増えます。覚える語源が増えるということは、覚えるために費やす時間も増えますので、純粋に14000以上の英単語を推測できる力だけをつけるためには、少し遠回りです。そのため、20の接頭辞と14の語根だけにフォーカスし、回り道をすることなく、最短で語彙力をアップさせることができるようにしています。

また、英語を英語で覚えていくために、語源の説明、単語の意味等は全て英語でお伝えします。





単語の意味は、主に「Longman Web Dictionary」から引用しています。

Longman Web Dictionary  
<http://www.ldoceonline.com/>

この辞典は 56,000 語の収録語の定義を、基本 2,000 単語でしていますので、中学英語が分かれば十分に理解することができます。英英辞典が苦手な人でも使いやすい辞典ですので、普段から是非活用して下さい。

語源の説明、単語の意味等、他に使用し、引用した辞典は以下の通りです。

Oxford Advanced Learner's Dictionary  
[http://www.oup.com/elt/catalogue/teachersites/oald7/?oup\\_jspFileName=teacherSite.jsp&cc=global](http://www.oup.com/elt/catalogue/teachersites/oald7/?oup_jspFileName=teacherSite.jsp&cc=global)

Merriam-Webster Collegiate Dictionary  
<http://www.merriam-webster.com/>

Dictionary.com  
<http://dictionary.reference.com/>



## レポートの活用方法

ページ上部に、お伝えする語源と、その語源の意味があります。そしてその下に、その語源を簡単にイメージすることができる画像があります。

1-2. com = “with”, “together”, “thoroughly”



©Aramanda - Fotolia.com

語源の意味を文字だけで覚えるよりも、画像を使って覚える方が非常に簡単です。文字を思い出すことができなくても、画像を覚えていれば意味が分かる画像を用意しておりますので、語源を覚える時には文字だけで覚えるのではなく、画像と一緒に覚えていって下さい。

画像の下には、お伝えする語源が含まれている単語の例が2つあります。先ほどもお話ししたように、ほとんどが14000以上の英単語を推測できる力をつけるための、20の接頭辞と14の語根を2つ以上使って構成されている単語です。

単語の下には、その単語を構成している語源と、それぞれの意味があります。さらにその下には、構成している語源からの、単語の意味の想像の仕方のお伝えし、最後にその単語の英英辞典の意味が載っています。

分かりやすく例を挙げましょう。



例

■ **complicate** ...単語

**com (together) + plic(to fold) + ate(verb)** ...構成している語源と意味  
to fold together → to make something difficult ...意味の推測方法

<v> to make a problem or situation more difficult ...英英辞典の意味

### ※補足

上記の「構成している語源と意味」には ate(verb)とありますが、この verb は「この単語は動詞である」、ということを表しています。なお、形容詞の場合は adjective、名詞の場合は noun と記載しています。

また、英英辞典の意味の先頭にある<v>は、verb の v、つまり動詞ということです。形容詞の場合は<adj>、名詞の場合は<n>と記載しています。

ページ上ではこのようになっています。

```
■ complicate  
com (together) + plic(to fold) + ate(verb)  
to fold together → to make something difficult  
  
<v> to make a problem or situation more difficult  
  
■ compose  
com (together) + pose(to put)  
to put together  
  
<v> to be formed from a number of substances, parts, or people  
  
※ Variants: co-, col-, con-
```

Variants とは、他のスペルのことです。つまり、語源の com は、co-, col-, con- のスペルでも使われるということです。なお、Variants でお伝えしているスペルが全てではありません。本書では、あまり見かけないスペルは省き、よく見かけるスペルを掲載しています。



自分のテスト結果を見た時は信じられなかったです。



A. F 様



現在の自分の英語力を知るためにTOEICの受験を考えました。

今までTOEICを受験したこともなく、勉強の仕方もわからず、でも、折角受験するなら良いスコアを取りたいと思ったので、アンドリュース先生の講座を受けることにしました。

友人からはこの講座がとても役に立ったと聞いていたのですが、まさにその通りでした。

2週間の勉強でこんなスコアが取れるなんてびっくりしました。自分のテスト結果を見た時は信じられなかったです。

どんな小さな質問にも丁寧にわかりやすく、みんなが納得できるまで説明してくれてありがとうございました。

アンドリュース先生のアドバイスのお蔭であせることもなくテストに臨めたことにも感謝しています。

## Score Up 1-2-3 for the TOEIC® Test

合計 540 人の生徒をわずか 2 週間で平均 200 点スコアアップさせたアンドリュース先生の TOEIC 攻略法を公開しています。

⇒ 平均 800 点以上の TOEIC 対策とは？





*Unit 1*  
**接頭辭**



## 1-1. ad = “to”, “toward”



©Franz Pfluegl - Fotolia.com

### ■ assist

as (toward) + sist (to stand)

to stand toward → to stand near

<v> to help someone to do something

### ■ admit

ad (toward) + mit (to send)

to send toward → to send your mind to somebody

<v> to agree unwillingly that something is true or that someone else is right

※ Variants: a-, ac-, af-, ag-, al-, ap-, as-, at-



1-2. com = “with”, “together”, “thoroughly”



©Aramanda - Fotolia.com

■ **complicate**

com (together) + plic(to fold) + ate(verb)

to fold together → to make something difficult

<v> to make a problem or situation more difficult

■ **compose**

com (together) + pose(to put)

to put together

<v> to be formed from a number of substances, parts, or people

※ Variants: co-, col-, con-



## 1-3. de = “down”, “away”



©Paul Fleet - Fotolia.com

### ■ defer

de (down) + fer(to carry)

to carry down

<v> to delay something until a later date

### ■ depose

de (down) + pose(to put)

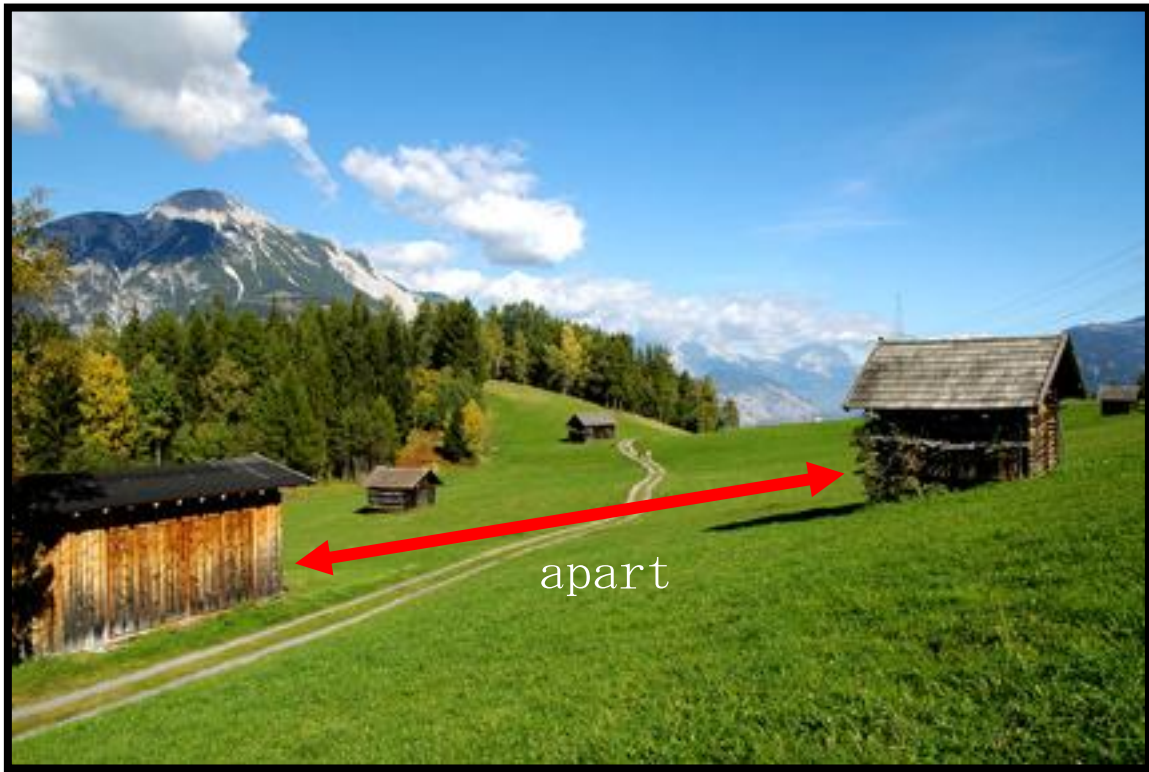
to put down

<v> to remove a leader or ruler from a position of power





1-4. dis = “apart”, “do the opposite of”, “not”



©Alexander Ivanov - Fotolia.com

■ **distend**

dis (apart) + tend(to stretch)

to stretch apart

<v> to swell or make something swell because of pressure from inside

■ **dispose**

dis (apart) + pose(to put)

to put apart

<v> to arrange things or put them in their places

※ Variants: di-, dif-



## 1-5. epi = “upon”, “besides”, “over”



©Elisheva Monasevich - Fotolia.com

### ■ epigraph

epi(upon) + graph(something written)  
something written upon

<n> a short sentence written on a statue, or used as an introduction to a book

### ■ epilogue

epi(besides) + log(speech)  
speech besides

<n> a speech or piece of writing that is added to the end of a book, film, or play and discusses or explains the ending

※ Variant: ep-



## 1-6. ex = “out”, “out of”



©Diana Lundin - Fotolia.com

### ■ **except**

ex(out) + cept(to take)

to take something out

<v> to not include something

### ■ **extend**

ex(out) + tend(to stretch)

to stretch out

<v> to continue for a longer period of time, or to make something last longer

※ Variants: e-, ef-



## 1-7. in = “in”, “into”, “on”



©Aramanda - Fotolia.com

### ■ **inscribe**

**in(on) + scrib(to write)**

to write on

<v> to carefully cut, print, or write words on something, especially on the surface of a stone or coin

### ■ **inspect**

**in (in) + spect(to look at)**

to look at in

<v> to examine something carefully in order to find out more about it or to find out what is wrong with it

※ **Variants:** il-, im-, ir-





1-8. in = “not”



©Andriy Solovyov - Fotolia.com

■ **illegal**

il(not) + legal (legal)

not legal

<adj> not allowed by the law

<n> an illegal immigrant

■ **incorrect**

in (not) + correct(correct)

not correct

<adj> not correct or true

※ Variants: il-, im-, ir-



## 1-9. inter = “between”, “among”



©Renee Jansoa - Fotolia.com

### ■ intercept

inter(between) + cept(to take)

to take between

<v> to stop something or someone that is going from one place to another before they get there

### ■ interpose

inter(between) + pose(to put)

to put between

<v> to put yourself or something else between two other things

※ Variant: enter



1-10. mono = “one”, “only”, “alone”



©bilderbox - Fotolia.com

■ **monograph**

mono(one) + graph(something written)

one thing written

<n> an article or short book that discusses a subject in detail

■ **monologue**

mono(alone) + log(speech)

speech alone

<n> a long speech by one person

※ Variant: mon-



1-11. mis = “bad”, “wrong”



©Tan Kian Khoo - Fotolia.com

■ **misapply**

mis(bad) + ap(toward) + ply(to fold)

to fold toward badly

<v> to use something incorrectly or for a wrong purpose

■ **misdescribe**

mis(bad) + de(down) + scribe(to write)

to write down badly

<v> to describe incorrectly or falsely





## 1-12. non = “not”



©Andriy Solovyov - Fotolia.com

### ■ **nondescript**

non(not) + de(down) + scrip(to write)

not to write down → not easily described

<adj> someone or something that is nondescript looks very ordinary and is not at all interesting or unusual

### ■ **nonexposed**

non(not) + ex(out) + pose(to put)

not to put out

<adj> not open to view, shielded or protected



1-13. ob = “against”, “toward”, “in the way”



©RoIMat - Fotolia.com

■ **obtain**

ob(in the way) + tain(to hold)

in the way to hold

<v> to get something that you want, especially through your own effort, skill, or work

■ **omit**

o(toward) + mit(to send)

to send toward, to let go toward

<v> to not include someone or something, either deliberately or because you forget to do it

※ Variants: o-, oc-, of-, op-



## 1-14. over = “exceed”, “surpass”



©nfrPictures - Fotolia.com

### ■ overcomplicate

over(to exceed) + com (together) + plic(to fold) + ate(verb)

to exceed to fold together → to exceed to make something difficult

<v> to make a problem or situation more difficult overly

### ■ overproduction

over(to exceed) + pro(forward) + duc(to lead) + tion(noun)

to exceed to lead forward

<n> the act of producing more of something than people want or need



1-15. pre = “before”, “in front of”, “prior to”



©Dušan Zidar · Fotolia.com

■ **precept**

pre(before) + cept(to take)

to take before → to take beforehand

<n> a rule on which a way of thinking or behaving is based

■ **prefer**

pre(before) + fer (to carry)

to carry before others, prior to others

<v> to like someone or something more than someone or something else, so that you would choose it if you could





1-16. pro = “before”, “forward”, “for”



©Mellimage - Fotolia.com

■ **prologue**

pro(before) + log(speech)

speech before

<n> the introduction to a play, a long poem etc

■ **propose**

pro(forward) + pose(to put)

to put forward

<v> to suggest something as a plan or course of action



## 1-17. re = “back”, “again”



©Konstantin Sutyagin - Fotolia.com

### ■ respect

re(back) + spect(to look at)

to look at back

<v> to admire someone because they have high standards and good qualities such as fairness and honesty

<n> when you admire someone, especially because of their personal qualities, knowledge, or skills

### ■ retain

re(back) + tain(to hold)

to hold back

<v> to keep something or continue to have something



1-18. sub = “under”, “below”



©paul prescott - Fotolia.com

■ **submit**

sub(under) + mit(to send)

to send under → to lower

<v> to give a plan, piece of writing etc to someone in authority for them to consider or approve

■ **subsist**

sub(under) + sist(to stand)

to stand under

<v> to stay alive when you only have small amounts of food or money

※ Variants: suc-, suf-, sug-, sum-, sup-, sur-, sus-





## 1-19. trans = “across”, “beyond”



©jedi-master · Fotolia.com

### ■ transfer

trans(across) + fer(to carry)

to carry across

<v> to move from one place, school, job etc to another, or to make someone do this, especially within the same organization

<n> the process by which someone or something moves or is moved from one place, job etc to another

### ■ transmit

trans(across) + mit(to send)

to send across

<v> to send or pass something from one person, place or thing to another

※ Variants: tra-, tran-





## 1-20. un = “not”



©Andriy Solovyov - Fotolia.com

### ■ unreal

un (not) + real(real)  
not real

<adj> an experience, situation etc that is unreal seems so strange that you think you must be imagining it

### ■ unsure

un (not) + sure(sure)  
not sure

<adj> not certain about something or about what you have to do



## テスト結果にはビックリ！



W. S 様



将来のキャリアを生かすため、TOEIC受験を考えました。

受講するクラスは先生との距離をととても近くに感じることができ、自分のために先生が協力してくれていることを実感しました。

受講後のテスト結果にはビックリ！  
短期間で集中的に重要点を的確に教えてもらうことが出来ました。

なによりもアンドリュー先生の指導テクニックの高さを痛感しました！

## Score Up 1-2-3 for the TOEIC® Test

合計 540 人の生徒をわずか 2 週間で平均 200 点スコアアップさせたアンドリュー先生の TOEIC 攻略法を公開しています。

⇒ ネイティブの驚きの TOEIC 対策とは？



*Unit2*  
**語根**



## 2-1. cep = “take”, “seize”



©Tobias Kaltenbach - Fotolia.com

### ■ accept

ac (toward) + cept(to take)

to take toward

<v> to take something that someone offers you, or to agree to do something that someone asks you to do

### ■ reception

re (back) + cep(to take) + tion(noun)

to take back → receive

<n> the area inside the entrance of a hotel, an office building, etc. where guests or visitors go first when they arrive

※ Variants: cept, cap, cip





## 2-2. duc = “lead”



©iofoto - Fotolia.com

### ■ induct

in (into) + duct(to lead)

to lead into

<v> to officially give someone a job or position of authority, especially at a special ceremony

### ■ deduct

de (down) + duct(to lead)

to lead down

<v> to take away an amount or part from a total

※ Variant: duct



## 2-3. fer = “carry”, “bear”



©Ramona Heim - Fotolia.com

### ■ refer

re (back) + fer(to carry)

to carry back

<v> to mention or speak about someone or something

### ■ suffer

suf (under) + fer(to bear)

to bear under

<v> to experience physical or mental pain



## 2-4. fic = “make”, “do”, “cause”



©olga demchishina - Fotolia.com

### ■ **efficient**

ef (out) + fic(to make) + ent(adjective)

to make out

<adj> if someone or something is efficient, they work well without wasting time, money, or energy

### ■ **proficient**

pro (forward) + fic(to make) + ent(adjective)

to make forward

< adj > able to do something well or skilfully



## 2-5. graph = “write”



©Vladimir Popovic - Fotolia.com

### ■ biography

bio(life) + graph(something written)  
written for life

<n> a book that tells what has happened in someone's life, written by someone else

### ■ graphic

graph(something written) + ic(adjective)  
something written

<adj> a graphic account or description of an event is very clear and gives a lot of details, especially unpleasant ones

※ -graph means “something written”, “something drawn”.





## 2-6. log = “speech”, “word”, “reason”



©Oez - Fotolia.com

### ■ logical

log(reason) + cal(adjective)

reason → reasonable

<adj> seeming reasonable and sensible

### ■ biology

bio(life) + logy(the study of)

the study of life

<n> the scientific study of living things

※ Variants: -logy, -logue

※ -logy means “the study of”.



## 2-7. mit = “send”



©Elena Moiseeva - Fotolia.com

### ■ emit

e(out) + mit(to send)

to send out

<v> to send out gas, heat, light, sound etc

### ■ remit

re(back) + mit(to send)

to send back

<v> to send a payment



## 2-8. ply = “fold”



©Olga Shelego - Fotolia.com

### ■ display

dis(not) + play(to fold)

not to fold

<n> an arrangement of things for people to look at or buy

<v> to show something to people, or put it in a place where people can see it easily

### ■ replicate

re(back) + plic(to fold) + ate(verb)

to fold back

<v> if you replicate someone's work, a scientific study etc, you do it again, or try to get the same result again

※ Variants: -plic, -ploi, -ple, -ploy, -play



## 2-9. pos = “put”, “place”



©Andreja Donko - Fotolia.com

### ■ compound

com(together) + poun(to put)

to put together

<n> a thing consisting of two or more separate things combined together

<adj> formed of two or more parts

<v> to make a difficult situation worse by adding more problems

### ■ suppose

sup(under) + pose(to put)

to put under

<v> used to say you think something is true, although you are uncertain about it

※ Variants: -pon, -poun, -post





## 2-10. spec = “look at”, “behold”



©sonya etchison - Fotolia.com

### ■ prospect

pro(forward) + spect(to look at)

to look at forward

<n> the possibility that something will happen

<v> to examine an area of land or water, in order to find gold, silver, oil etc

### ■ suspect

sus(under) + spect (to look at)

to look at under

<v> to think that something is probably true, especially something bad

※ Variants: -spic, -spect, -spis



## 2-11. sist = “stand”



©Pavel Losevsky - Fotolia.com

### ■ consist

con(together) + sist(to stand)

to stand together

<v> to be based on or depend on something

### ■ insist

in(on) + sist (to stand)

to stand on

<v> to say firmly and often that something is true, especially when other people think it may not be true



## 2-12. scrib = “write”



©João Freitas - Fotolia.com

### ■ ascribe

a(toward) + scrib(to write)

to write toward

<v> to claim that something is caused by a particular person, situation etc

### ■ prescribe

pre(before) + scrib(to write)

to write before

<v> to tell somebody to take a particular medicine or have a particular treatment ,to write a prescription for a particular medicine, etc

※ Variants: -scribe, -scrip



## 2-13. tain = “hold”, “have”



©Georgi Georgiev - Fotolia.com

### ■ contain

con(together) + tain(to hold)

to hold together

<v> if something such as a bag, box, or place contains something, that thing is inside it

### ■ entertain

enter(between) + tain(to hold)

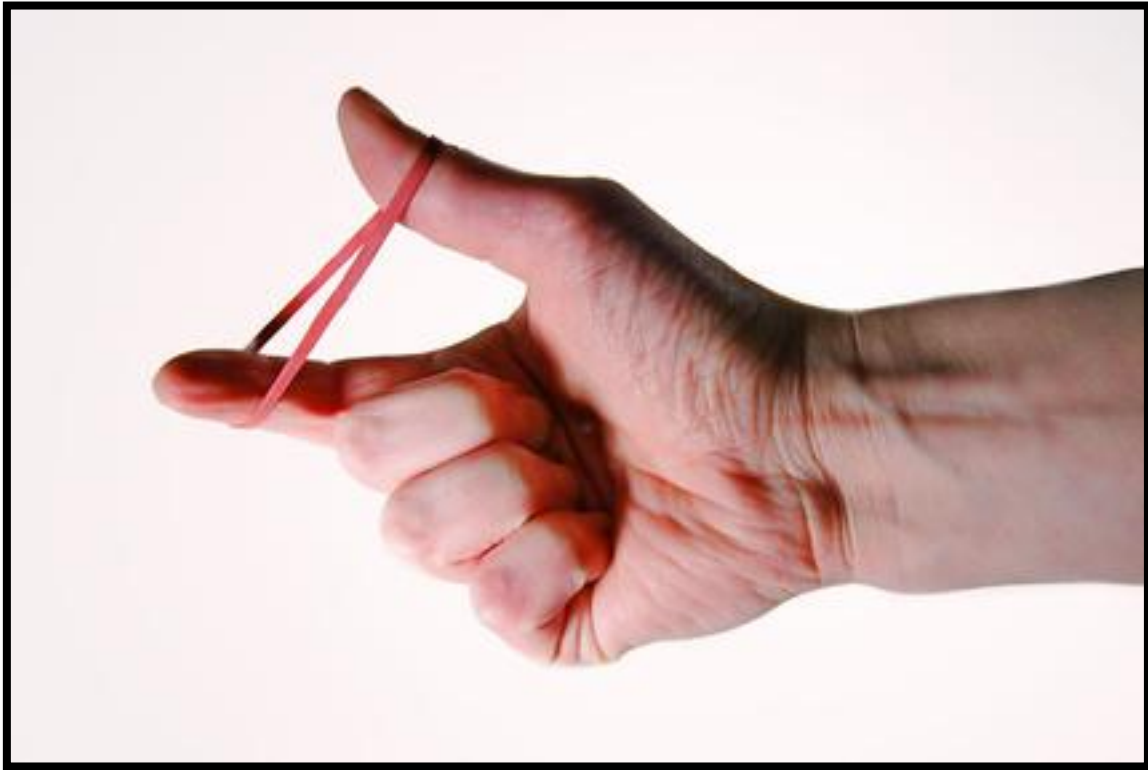
to hold between

<v> to amuse or interest people in a way that gives them pleasure





## 2-14. tend = “stretch”, “extend”, “spread”



©HD Connelly - Fotolia.com

### ■ attend

at(toward) + tend(to stretch)  
to stretch toward

<v> to go to an event such as a meeting or a class

### ■ pretend

pre(before) + tend(to stretch)  
to stretch before, to stretch in front of

<v> to behave as if something is true when in fact you know it is not, in order to deceive people or for fun

※ Variant: -tent



「ほんとにこんなにアップするんだあ」

525点⇒790点取得

265点UP

K. O様



帰国を控え、オーストラリアでどれくらい英語が伸びたのか確認するため、また、日本で幅広く就職に活かせる資格が欲しかったので受講を決意しました。

平均スコアアップ率が200点以上という実績もあり、アンドリュース先生を選びました。

短期の講座だったので集中して勉強することができ、クラスも少人数なので質問しやすい環境がとても良かったです。

受講後のテストの結果を見て「ほんとにこんなにアップするんだあ」ってビックリしました！

帰国後もアンドリュース先生に教えてもらったやり方で特にリーディングセクションのポイントアップを目指して勉強を続けていきたいと思っています。

## Score Up 1-2-3 for the TOEIC® Test

合計 540 人の生徒をわずか 2 週間で平均 200 点スコアアップさせたアンドリュース先生の TOEIC 攻略法を公開しています。

⇒ ネイティブの驚きの TOEIC 勉強法とは？



*Unit3*  
練習



## 3-1. 練習問題

14 の単語(14 Master Words)を使って、単語の意味を推測する練習をしていきましょう。これらの単語の意味が理解できれば、あなたは「14000 以上の英単語を推測できる力をつけることができた」、ということです。では始めましょう。

( )の左に接頭辞、語根を、( )の中にその接頭辞、語根の意味を書き、その下に意味を推測する例を書きなさい。必ずそれぞれの接頭辞、語根の画像を思い浮かべながら記入して行って下さい。

### 1. precept

接頭辞、語根の意味: ( ) + ( )  
意味を推測する例:

### 2. detain

接頭辞、語根の意味: ( ) + ( )  
意味を推測する例:

### 3. intermittent

接頭辞、語根の意味: ( ) + ( )  
意味を推測する例:

### 4. offer

接頭辞、語根の意味: ( ) + ( )  
意味を推測する例:

### 5. insist

接頭辞、語根の意味: ( ) + ( )  
意味を推測する例:





## 6. monograph

接頭辞、語根の意味： (        ) + (        )  
意味を推測する例：

## 7. epilogue

接頭辞、語根の意味： (        ) + (        )  
意味を推測する例：

## 8. aspect

接頭辞、語根の意味： (        ) + (        )  
意味を推測する例：

## 9. uncomplicated

接頭辞、語根の意味： (        ) + (        ) + (        )  
意味を推測する例：

## 10. nonextended

接頭辞、語根の意味： (        ) + (        ) + (        )  
意味を推測する例：

## 11. reproduction

接頭辞、語根の意味： (        ) + (        ) + (        )  
意味を推測する例：

## 12. indisposed

接頭辞、語根の意味： (        ) + (        ) + (        )  
意味を推測する例：



### 13. oversufficient

接頭辞、語根の意味： (        ) + (        ) + (        )  
意味を推測する例：

### 14. mistranscribe

接頭辞、語根の意味： (        ) + (        ) + (        )  
意味を推測する例：



## 3-2. 答え

練習問題の接頭辞、語根の意味は、それぞれのページに戻って確認をしましょう。調べ直すことによって、語源の再確認ができますので、より明確に覚えることができます。特に、画像は何回も見て覚えて下さい。文字で覚えるよりも、画像で語源の意味を覚える方がずっと簡単です。

意味を推測する例の答えはありません。あなたが分解した語源から、14 の単語 (14 Master Words) の意味を推測することができたのであれば、それが答えになります。あなたにとって、単語の意味を推測しやすい方法で、語源を活用していくことが大切です。

単語の意味を調べる場合は、英和・和英辞典を使うのではなく、英英辞典を使って調べて下さい。はじめにお伝えしたように、「Longman Web Dictionary」は非常に分かりやすいのでおすすめです。

語源を使って英単語の意味を推測する方法は、私がお伝えした例以外にも多々あります。1 つの語源にいくつか意味はありますが、多くの英単語はどの意味からでも意味を推測することができるのです。

例えば、respect の意味は、「re(back) + spect(to look at)」から「to look at back」と推測するとお伝えしましたが、「re(again) + spect(to look at)」からでも意味を推測することができますし、「re(back) + spect(to behold)」、「re(again) + spect(to behold)」でも respect の意味が分かります。

このように、複数ある 1 つの語源の意味を全て覚えていなくても、多くの英単語の意味は簡単に推測することができます。ですので、決して英単語の意味を理解することを難しく考えすぎないで下さい。全てを覚えようとするのではなく、自分が覚えやすい、そして意味を推測しやすい語源の意味を覚えていくことが、語彙力を一気に伸ばしていくためには大切です。



## さいごに

このレポートを見たことで満足してはいけません。普段から英単語を見た時に、このレポートでお伝えしている語源が含まれている場合には、その単語の意味を推測する習慣をつけていきましょう。そうすることによって復習もできますし、推測する力もどんどん上達していきます。習慣をつけない限り、徐々に語源を忘れていってしまいますので、是非実践して下さい。

## あなたの最初のステップは？

例) 単語を見た時に知っている語源があったら、語源から意味を推測するようにする。





また先ほどもお伝えしましたが、もしあなたが「TOEIC ハイスコアを短期間で取りたい！」と思ってこのレポートを手にしたのであれば、下記「Score Up 1-2-3 for the TOEIC® Test」を是非チェックして下さい。

**テクニックは目からウロコです。**

**330点⇒660点取得**

**360点UP**

**K. N様**



受講当初はこんな私でもスコアが200点もアップするのかととても不安でしたが、アンドリュース先生の親切な指導のおかげで目標以上のスコアを取得できました。

少人数のクラスでわからないところも聞きやすい雰囲気と常にアンドリュース先生が生徒達に気を配ってくれていることが良かったです。

また、クラスメイトが真剣に高得点を狙って勉強している影響を受けて私もよりやる気ができました。

教えてもらったテクニックは目からウロコです。  
さすがアンドリュース先生！ありがとうございました。

## Score Up 1-2-3 for the TOEIC® Test

合計 540 人の生徒をわずか 2 週間で平均 200 点スコアアップさせたアンドリュース先生の TOEIC 攻略法を公開しています。

⇒ ネイティブの極秘 TOEIC 教材とは？



このレポートでお伝えした 14 の単語の語源をウェブサイトを確認し、覚えていくことができる無料メールマガジンも発行しています。

語源だけでなく、英語を早く上達させることができる有益な情報もお伝えしていますので、「英語を早く覚えたい！」と本気で思っているのであれば、是非登録して下さい。

⇒ [無料メールマガジンに登録する](#)

今後加筆、改訂等ございましたら、メールマガジンでお伝えさせていただきます。最後まで読んで頂き、本当にありがとうございました。

Fuyumi

